

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【公開番号】特開 2006-149237 (P2006-149237A)
 【公開日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-023
 【出願番号】特願 2004-341399 (P2004-341399)
 【国際特許分類】

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 15 日 (2007.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細胞を培養する培養空間が形成された培養容器部材とこの培養容器部材の培養空間の上部に配置された第 1 の弾性シールとを有する培養容器と、この培養容器に培地等の溶液を供給する供給手段が設けられた継ぎ手部材とこの継ぎ手部材に接着された第 2 の弾性シールとを有する継ぎ手とを備え、前記継ぎ手に形成した吸引手段を用いて前記培養容器を前記継ぎ手に着脱可能としたことを特徴とする培養装置。

【請求項 2】

前記吸引手段は、前記第 2 の弾性シールに取り付けた吸引部材と、この吸引部材に連通し吸引力を作動させるポンプとを有することを特徴とする請求項 1 に記載の培養装置。

【請求項 3】

上面に第 1 の弾性シールを接着し培養空間が形成された培養容器と、この培養容器に培地等の溶液を供給する供給部が形成され、下面に微細突起を有する第 2 の弾性シール部材を接着した継ぎ手とを備え、前記第 1 の弾性シールは溶液を供給または排出するための弁を有し、前記第 2 の弾性シールは前記弁に対応した位置に漏れを防止する微細突起が形成されており、前記培養容器と前記継ぎ手とを吸引して、第 1 の弾性シールと第 2 の弾性シールを密着させて一体化した播種装置を形成したことを特徴とする培養装置。

【請求項 4】

前記弁と前記微細突起の表面に、撥水処理を施したことを特徴とする請求項 3 に記載の培養装置。

【請求項 5】

前記継ぎ手の側面にアームを設け、このアームの先端部を回転軸に接続し、培養空間から培地等の溶液を注入または排出するときには前記吸着手段により一体化された播種装置を水平方向から傾けるように前記回転軸が動作することを特徴とする請求項 3 に記載の培養装置。